

# 事務事業評価シート

H28(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04010-1	一般事業(環境保全事業)	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	04:自然との共生	務	款 衛生費
施策体系	施策の方向	03:水辺環境の保全	科	項 保健衛生費
	戦略プロジェクト		目	目 環境衛生費

② 目的・概要	対象	市民・事業者・行政
	目的	市内の水質・大気等の環境調査を実施し、現状把握を行うとともに、公害防止や市民の環境保全意識の向上のための啓発活動を実施するなど、地域の環境保全と環境負荷の低減を図る。
概要	市域において水質・大気・ダイオキシン・/自動車交通騒音測定及び面的評価の調査を実施し、亀山市の環境がおかれている現状の把握に努めるとともに、環境改善のための資料とする。また、事業者による公害を防止するため、立ち入り検査の実施や環境保全協定の締結を促進する。市民に対しては、環境意識の向上を図り環境負荷の少ない社会を形成するべく、クリーン作戦や環境保全推進ポスターコンクール等の啓発イベントを実施する。	

		27年度	28年度
①	名称	環境調査実施回数	計画値
	補足	水質等調査回数/大気調査回数/ダイオキシン類等調査回数/自動車交通騒音測定及び面的評価業務調査路線数	実績値 単位
		25/14/5/2 回/回/回/路線	25/14/5/2 回/回/回/路線
②	名称	環境調査報告書「亀山市の環境」発行	計画値
	補足	年間発行回数	実績値 単位
		1 回	1 回
③	名称	啓発活動への参加人数	計画値
	補足	環境保全推進ポスターコンクール参加者数/クリーン作戦参加者数	実績値 単位
		58/206 人/人	59/157 人/人

年度計画			年度実績				
④ 事業の計画・実績				<ul style="list-style-type: none"> <li>●水質検査等委託業務では、河川などの水質調査や工場排水などの定期環境調査を年間25回実施した。大気調査委託業務では、継続的な調査を毎月実施し、総合的な大気測定を秋季と春季の2回実施した。ダイオキシン類等調査委託業務では、河川調査を1回、大気調査を2回、土壌調査を1回、河川底質調査を1回実施した。自動車交通騒音測定及び面的評価業務では、2路線の評価を実施した。</li> <li>●平成27年度の環境調査結果に基づき、「平成27年度版亀山市の環境」を発行した。</li> <li>●環境保全推進ポスターコンクールを実施し、最優秀作品を翌年の啓発カレンダーの図柄に使用した。また、あいあい等で展示啓発を実施した。</li> <li>●地区衛生組織連合会と連携し、クリーン作戦として、平成29年3月12日に市内企業などからの参加メンバーと不法投棄撲滅の環境啓発を行った。</li> </ul>			
	事業費	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ① 7,323
		国庫支出金				一般職員人件費 ② 7,323	平均給与額×③
		県支出金				所要人員 ③ 1.00	
		地方債				臨時職員人件費 ④	
		その他		107	107	受益者負担額 ⑤	
		一般財源		14,644	13,936	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
		再掲	翌年度への繰越額				
			前年度からの繰越額				
		総人件費		①	7,323		
	総コスト		⑥	21,366			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	環境調査の結果、ほとんどの地点・調査項目において基準値を満たしていることが明らかになった。また、環境調査の報告書である「亀山市の環境」は、亀山市を取り巻く地理的・自然環境的な特徴をはじめ、環境調査結果等に基づき、亀山市を取り巻く環境についてまとめたものであり、HPにて公開することによって、市民へ現在の亀山市内の環境状況について周知した。また、環境啓発活動として、環境保全推進ポスターコンクールおよびクリーン作戦を実施した。街頭啓発や展示を実施することで、環境保護に対する啓発に努めた。	総合判定 <b>B</b> まずまず進んだ
	【反省点・課題】	亀山市を取り巻く環境についてまとめた、環境調査の報告書である「亀山市の環境」の、HPでの公開時期が遅れた。また、クリーン作戦においては、平成21年度から行われており、不法投棄撲滅の環境啓発を行っておりますが、活動内容については毎年同様のものであり、内容の変更をする必要がある。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	環境調査の報告書である「亀山市の環境」について、早期にデータを収集し、HPでの公開を実施する。また、クリーン作戦に関しては、亀山市地区衛生組織連合会と協議し、実施内容について検討していく。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切

最終評価確認者: 環境保全室長 石垣 忠